

## ■太平南小学校の実践

### (1) 研究内容

異学年とのふれあい活動と「友達への思いやりの心」を育む人権教育  
～障がいのある人とのかかわり、命や人権をテーマにした道徳の学習～

### (2) 学習活動を通して育てたい力

○異学年と関わりながら、障がいのある友達や能力の異なる友達との楽しい活動を生み出し、人と積極的にふれあっていこうとする態度を育てる。また、協力性や他者を尊重した遊びの創造力を伸ばす。

○人としての生き方について自覚を深め、道徳的心情、判断力、態度や意欲の向上を図り、具体的な行動の仕方や道徳的实践力を育成する。

### (3) 実践の内容

【実践①】全学年「エンジョイタイム」(児童活動、休み時間実施)、「全校ふれあい遊び」

#### ○ねらい

- ・担当教諭が関わりながら異学年交流のグループをつくり、様々な遊びを通してふれあい、仲良くなる。

#### ○学習内容

- ・異学年グループをつくり、紹介し合う。(顔合わせ6月、時数は児童活動)
- ・木曜日の中休み(月1～2回)に集まり、様々な遊びをする。(周知は掲示板)
- ・教師が関わりながら6年生中心に遊びを計画する。徐々に他学年にも役割を振り分ける。
- ・交流給食を行う。
- ・学年末に「似顔絵交流会」として、これまで世話になった6年生の似顔絵をグループ児童が描き、感謝の気持ちを込めてプレゼントする。(2月下旬、時数は児童活動、絵は卒業式まで全校の教室や特別教室の廊下壁面に飾られる)



エンジョイタイム顔合わせ



全校ふれあい遊び



似顔絵交流会

【実践②】全学年「道徳」参観授業、人権にかかわる授業公開(3年1組、2月18日)

#### ○ねらい

- ・校内で検討した重点徳目「思いやりの心」や「生命尊重」を全校で共通理解して取り組み、参観授業で保護者に公開する。また、授業づくりを通して研修を図る。

#### ○学習内容

- ・6月12日、13日に下記の学習内容で授業を公開した。

学年	主題名	概要（見どころ）
1年	「このてはだあれ」	友達と手を握り合うゲームをして、ふれあう
2年	「アンパンマンたん生」	もし自分が〇〇パンマンなら？とできることを考える
3年	「いのちのまつり」	命は自分だけではなく、昔から連続性があることを学ぶ
4年	「火の山のおじいさん」	自他の生命を大切にしようとする心について考える
5年	「命の時間」	命を失くしたら戻らないことを学び、命について考える
6年	「へそのお話」	生まれてきたことの幸せを感じる

- ・他にもフリー参観などで授業実践を行っている。
- ・授業づくりを通して、学年を中心に教材の工夫や資料準備、振り返りを行う。
- ・2月18日に「子どもの権利に関する公開授業」を実施した。

公開学級	主題名	概要（見どころ）
3年1組	精一杯生きる	宮越由貴奈さんの「命」という詩を読み、命を大切にする意味を考えたり、相手を傷つける言葉を出さず他者の命も大切にすることの重要性に気付いたりする。



全校で参観授業



子どもの権利に関する公開授業

#### （４）成果と課題

##### ①成果

- ・全教職員が共通理解して取り組むことにより、効果的に指導が行われ、子どもに考える場を与えたり、自主性を伸ばしたりする教育活動を継続できている。
- ・エンジョイタイムは、平成18年度から続いている「学級ふれあい遊び」が発展した活動である。教室の枠を越え、様々な子ども同士が楽しみながらふれあうことで、豊かな心の育成や健康づくりにも成果が表れている。また、教師が子どもに寄り添うことで、学年や学級以外の子どもの様子を知り、効果的にかかわったり情報共有を図ったりすることができる。保護者からの活動への評価も高い。
- ・道徳の参観授業公開は2年目を迎えた。少しずつではあるが、副読本の活用や教材研究、保護者への発信ができつつある。

##### ②課題

- ・学校評価を重ねながら、よりよいふれあい活動へと改善を検討することである。
- ・道徳授業研究は、まだまだ実践が乏しい。他学年の授業の様子を情報共有することやもっと多くの保護者に学校としての取組を認知してもらうことも課題である。